

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 22日

事業所名 まくらざき子ども発達支援センター すま 保護者等数(児童数)15人 回収数 15人 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14			1		・専門職の業務内容や加配の仕組み等説明を加えていきたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14				1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	15					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15					今後とも支援計画に沿った療育の進捗状況を共有できるよう、連絡帳等で詳細に日々の療育報告を継続していく。
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	14	1				活動プログラムについては、固定化した内容とならないように、子どもの発達に応じて適宜見直しと個別性を重視しながら工夫している。さらに内容の濃いプログラムの検討を行っていく。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	1		5		保育園・幼稚園等との並行通園を行っており、日常的な子ども同士の交流の機会は確保できているが、事業所間交流については今後検討していきたい。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	15					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(<u>ペアレント・トレーニング*4</u> 等)が行われているか	12				3	保護者向けの計画等少しずつ再開しているが、今後は、感染対策等配慮しながらペアレントトレーニングプログラムの充実に努めていきたい。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	2			・見学等に行けていないので、すまいるの方と話をできることはないが、連絡帳や子どもからその日行った事等知ることができています。 ・いつも子どもの様子をたくさん伝えていただいて、その様子の報告を聞くのが、楽しみです。	連絡帳を活用したり、保護者によってはメールや写真データ等活用しながら日々の療育についての共通理解が進むよう努めてはいるが「相互理解」が進むよう取り組んでいきたい。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1		1	本当にどんなことにも相談にのってくださって感謝しています。		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	1	1	1	行くことができていません。	「見学週間」や「個別相談週間・月間」等設けできるだけ参加しやすい取り組みを行っているが、全体の保護者会は仕事に配慮して土曜日開催が多いため開催曜日の希望をとるなど工夫していきたい。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14				1		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14		1				外国人等の利用もあるため多様なニーズに対応できるよう可能な範囲で配慮しているが、より細やかな配慮を行っていきたい。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12				3		毎月の「すまいるだより」で活動概要や行事予定・行事報告等行っている。自己評価についてもホームページにて公表しているが周知の方法を工夫していきたい。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	14				1		個人情報にかかる同意書等で意識の共有を図っているが理解しやすい文言等配慮していきたい。情報開示についてもデータの取扱い等十分な配慮の中で行っていきたい。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	12		1		2		「事業継続計画(BDP)」が策定され、令和5年に1回保護者参加で緊急対応の訓練を行ったが参加者が少なかったため内容と開催時期を工夫していきたい。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14				1		毎月避難訓練等実施している。合わせて、不審者等外部侵入者への対応についても警察署と共に訓練が行われた。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15					・「今日は〇〇したよ」と帰ってくると、教えてくれます。 ・とても楽しみにしていて、最近では先生が迎えに来てくれるのを玄関で待つ日もあります。	
	23	事業所の支援に満足しているか	15						

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。